



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小南 孝教  
 (氏名) 藤森 直樹

TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,438	△8.3	189	△29.3	156	△40.4	82	—
23年3月期第1四半期	7,023	△4.3	268	△20.9	262	△13.1	△100	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 91百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.59	—
23年3月期第1四半期	△1.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	40,753	18,492	37.6
23年3月期	41,754	18,621	36.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,303百万円 23年3月期 15,391百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.00	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,140	△1.2	470	△38.5	380	△44.6	170	10.0	3.26
通期	30,730	6.0	1,610	△10.9	1,510	△5.8	780	26.9	14.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	58,698,864 株	23年3月期	58,698,864 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	6,596,360 株	23年3月期	6,594,840 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	52,103,141 株	23年3月期1Q	52,127,971 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から急速に落ち込み、その後徐々に落ち着きを取り戻してまいりましたものの、依然として雇用環境は厳しく、個人消費も低迷、また電力供給の制約、円高基調など、先行き不透明な状況のまま推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、公共事業費削減の影響を受け、また民間需要も震災後の需要業界の生産活動の低下などの影響を受けて低迷し、加えて原材料価格高騰の影響もあり、一層厳しい状況で推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、自動車産業関連を中心に民需関連分野向けが低迷し、加えて公共投資関連分野向けも低調であったことなどから、売上高は6,438百万円と前年同期に比べ8.3%の減収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ189百万円(前年同期比29.3%減少)、156百万円(前年同期比40.4%減少)となりました。また法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は82百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです

## &lt; 特殊鋼線関連事業 &gt;

(PC関連製品) 民間投資関連では、倉庫物件などのプロジェクトの受注と、マンション需要の回復で比較的堅調だったものの、公共投資関連での公共事業関係費の削減影響、震災影響による発注の遅れにより市場環境は一層厳しさを増しており、全体としては販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少いたしました。

(ばね・特殊鋼線関連製品) 自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、自動車メーカーが震災の影響を受けたことにより、6月以降回復傾向にはあるものの前年同期に比べ販売数量・売上金額とも大幅減となりました。また、OA関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線も、震災の影響から国内・輸出向けとも前年同期に比べ大幅減となりました。ステンレス鋼線は、主力の建築関連向けが震災の影響と外国材との競争により、また自動車関連向けも震災の影響を受け、引き続き厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は3,247百万円と前年同期に比べ11.3%減少となり、営業利益は80百万円と前年同期に比べ59.7%減少となりました。

## &lt; 鋼索関連事業 &gt;

国内総需要が前年同期に比べて微減となり引き続き低調に推移し、また汎用品は円高の影響により輸入品へのシフトが加速するという状況のなかで、当社グループの国内向けも販売数量、売上金額ともに減少となりました。また輸出につきましても、円高などの影響から減少し、全体でも前年同期に比べ販売数量、売上金額とも減少しました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は2,925百万円と前年同期に比べ6.7%減少となり、営業利益は142百万円と前年同期に比べ1.7%減少となりました。

## &lt; エンジニアリング関連事業 &gt;

主力製品である吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁分野では減少しましたものの、建築分野では増加し、全体としましては前年同期に比べ売上増となりました。また道路騒音防止関連製品は前年同期に比べ減少しましたが、落橋防止ケーブルは増加しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は250百万円と前年同期に比べ19.4%増加となり、営業損益は44百万円の損失(前年同期は87百万円の損失)となりました

## &lt; その他 &gt;

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ15百万円、11百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,001百万円減少の40,753百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

負債は、872百万円減少の22,260百万円となりました。これは主として賞与引当金が減少したことによるものです。

純資産は、128百万円減少の18,492百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は37.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては未定とさせていただきますが、現時点において入手可能な情報や予想等に基づき、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想並びに配当予想を新たに記載しております。

なお、詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,576	5,549
受取手形及び売掛金	9,314	8,757
商品及び製品	3,631	4,030
仕掛品	2,006	2,180
原材料及び貯蔵品	1,592	1,582
繰延税金資産	361	375
その他	363	442
貸倒引当金	277	265
流動資産合計	23,569	22,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,649	4,596
機械装置及び運搬具(純額)	4,373	4,345
工具、器具及び備品(純額)	189	183
土地	6,056	6,056
リース資産(純額)	47	44
建設仮勘定	110	124
有形固定資産合計	15,427	15,350
無形固定資産		
投資その他の資産	108	218
投資有価証券	364	342
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	1,488	1,434
その他	1,014	971
貸倒引当金	219	218
投資その他の資産合計	2,648	2,530
固定資産合計	18,184	18,099
資産合計	41,754	40,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092	2,970
短期借入金	6,244	6,235
リース債務	19	20
未払費用	1,291	1,280
未払法人税等	395	20
賞与引当金	547	234
その他	395	588
流動負債合計	11,986	11,349
固定負債		
長期借入金	7,509	7,352
リース債務	33	29
退職給付引当金	2,185	2,154
役員退職慰労引当金	34	31
環境対策引当金	70	70
繰延税金負債	558	557
負ののれん	154	138
その他	600	575
固定負債合計	11,145	10,910
負債合計	23,132	22,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,287	2,213
自己株式	1,350	1,350
株主資本合計	15,354	15,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	23
その他の包括利益累計額合計	36	23
少数株主持分	3,230	3,188
純資産合計	18,621	18,492
負債純資産合計	41,754	40,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,023	6,438
売上原価	5,520	5,150
売上総利益	1,503	1,288
販売費及び一般管理費	1,234	1,098
営業利益	268	189
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	7	7
還付消費税等	35	-
負ののれん償却額	15	15
固定資産賃貸料	13	12
その他	1	2
営業外収益合計	84	48
営業外費用		
支払利息	55	42
その他	34	39
営業外費用合計	90	82
経常利益	262	156
特別損失		
貸倒引当金繰入額	330	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	-
特別損失合計	334	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	72	156
法人税、住民税及び事業税	33	7
法人税等調整額	44	42
法人税等合計	10	50
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	62	106
少数株主利益	38	23
四半期純利益又は四半期純損失( )	100	82

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	62	106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	14
その他の包括利益合計	22	14
四半期包括利益	84	91
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125	68
少数株主に係る四半期包括利益	40	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,661	3,136	209	7,007	15	7,023	-	7,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	183	51	0	235	-	235	235	-
計	3,845	3,187	209	7,242	15	7,258	235	7,023
セグメント損益	199	145	87	256	11	268	-	268

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,247	2,925	250	6,423	15	6,438	-	6,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	179	53	1	233	-	233	233	-
計	3,426	2,978	251	6,657	15	6,672	233	6,438
セグメント損益	80	142	44	178	11	189	-	189

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。